

第51回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：令和4年9月26日（月） 14：00－15：40

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井座長、常田座長代理、関委員、永田委員、永原委員、山崎委員

(2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

河西局長、坂口審議官、渡邊参事官

(3) 関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課

上田課長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS）

國中所長 他

4. 議事要旨

(1) 宇宙科学予算について（令和5年度概算要求）

文部科学省から資料1を用いて、宇宙科学予算に関する令和5年度概算要求について説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等）

○MMXについて、毎年100億ぐらいが必要との説明を以前受けたが、令和5年度概算要求額で2024年度の打上げを担保できるのか。

○宇宙航空科学技術推進委託費について、1.8億円増額されているが、アーキテクト人材の育成が強化されているのか。

○戦略的海外共同計画は今後重要になってくると思う。工程表に記載のないものの全体像が見えにくいのが、日本としてどこに投資していくのかを、どのように決めているのか。

○以前、本小委員会で議論を行い、「戦略的中型、公募型小型、その他」を進めていくこととしたが、時代の要請に応じて、変えていっても良いのではないか。また、宇宙科学予算の柔軟な使い方を検討しても良いのではないか。

○技術のフロントローディングについて、例えば、小型JASMINEの赤外線検出器の開発については、どの段階が出口となるのか。

○フロントローディングについて、令和5年度概算要求では7.8億円と増額要求となっている。今年度の現状と来年度何をするのかをISASから報告してもらいたい。

以上